

委員会活動

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会は、9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(谷川善明委員長)は、曾於市表彰条例の制定など5件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案3件を賛成多数、議案1件を全会一致で可決し、陳情1件を継続審査としました。

☆曾於市表彰条例の制定

市政振興に寄与し、また、大衆の模範と認める行為があつた者を表彰するのに必要な条例であります。また、本条例に定める10年を12年にすべきであるとの意見を付して、可決するべきものと決定しました。

☆曾於市過疎地域自立促進計画

本市最初の計画は大隅、財部の計画を基本として未吉にあつては総合振興計画を勘案して策定されたものです。今回の計画は合併後の1段階的な処置であると考えます。本市の総合振興計画の策定が急務であり、過疎地域

自立促進計画は中身を十分検討し実施されるよう要請し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算

総務費、一般管理費の職員採用試験審査委託料について、市長の出席を求め審査しました。職員採用については、定員適



最大瞬間風速 41.4 mの台風 14号

正化計画に基づき採用計画の根拠がはっきりしなければいけないもので、採用人員については、畜産技術職員は2名とはつきり示されたが、一般事務職員については今後の変動を考慮し若干名と答弁されました。当初答弁された若干名6名は、認められない状況にあり、最小限の人員採用を計画するよう強い意見を出し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算の補正 (第1号)

台風14号及び落雷の被害による追加予算で有線柱の倒柱・傾柱43件及び断線406件の復旧に要する経費であります。

☆退職補償金の支給についての陳情

委員会では、継続審査としました。

文教厚生常任委員会

(大川原主税委員長)は、曾於市奨学生推薦委員会設置条例の制定など8件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案4件を賛成多数、議案3件を全会一致で可決し、陳情1件を採択しました。

☆曾於市奨学生推薦委員会設置条例の制定

条例の内容・規則について、任期の1年は短いものでは、また、旧末吉町の第3子奨学金制度や旧財部町の愛甲育英資金の

遺志をくんで別にしたほうがいいのではとの話もあつたが、曾於市全体としての奨学金として制定することになりました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算

学校図書運営費について、文部科学省が定めた基準に対して問題なく対応しているか、また、図書館の管理のあり方や、図書の購入予算について確保するように意見が付けられました。

なお、福祉関係で保育料の早期統一化の意見や公共施設における収支改善の意見等を出し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市国民健康保険特別会計予算

疾病予防やレセプト点検等を重点的に、療養費の抑制に取り組んで欲しいとの意見や、保険税の滞納でどうしても納められない納税者については、減免措置等、分析研究して欲しいとの意見を出し、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市老人保健特別会計予算

医療費の負担割合は、平成16年10月から平成17年9月までは支払基金100分の58、国600分の168、県600分の42、市町村600分の42、平成17年10月から平成18年9月までは支払基金100分の54、国600分の184、県600分の46、市町村600分の46を負担して運営するものであります。

☆平成17年度曾於市 介護保険特別会計予算

介護保険制度には、限度的なものもあり、現状としては反対であるが、全国では素晴らしい運営をしている自治体もあるので、将来的には運営次第で賛成に転じることもあるとの討論がありました。したが、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市 生活排水処理事業特別会計予算

優れた制度であるので普及に力をいれ、起債については充分検討して進めるべきとの意見を付して、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市 一般会計予算の補正 (第1号)

台風14号及び落雷で被害を受けた施設の復旧による追加予算で、小学校管理費では、台風被害14件と末吉小水中ポンプの落雷被害、中学校費では、旧月野中屋上防水シート等台風被害9件の復旧に要する経費であります。

子供たちの健やかな発達を願い、確かな学力と生きる力を育てる教育の推進のためにも、必要不可欠であるとの意見の一致を見、採択するべきものと決定しました。



校舎建設工事の始まった大隅町笠木小

☆義務教育費国庫負担制度堅持に関する陳情

質問したところ、今年度中は暫定予算どおりの率として、18年度から0・2の負担にするように努めるとの答弁がありました。また、市内3ヶ所の直販所についても統一した運営内容にするべきであると、可決するべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市 公共下水道事業特別会計予算

一時借入限度額4億円は予算に相当する額であるがとの質問に対し、工事等の緊急性を考慮したものであるとの答弁がありました。また、委員に認識を深めてもらうため下水道処理施設を調査しました。

☆平成17年度曾於市 水道事業会計予算

石綿管にアスベストが含まれ飲料水への害はないかと質問したところ、水道水による害はないものと考えられるが、布設工事等で出る粉塵等による害はあるとの答弁がありました。また、石綿管の布設状況を質問したところ、末吉町で2ヶ所3600m、大隅町で6ヶ所1035mとの答弁がありました。

再生産に必要な現行原料も価格を堅持し、生産拡大に伴う機材等への助成、政府のでん粉買入価格が引下げ基調であることなどから、でん粉買入価格の本年度産買入価格の堅持等であり、南九州畑作の主幹作物で、台風強いことから、採択するべきものと決定しました。

☆甘しょ・でん粉政策・価格に関する陳情

☆平成17年度曾於市 一般会計予算の補正 (第1号)

台風14号で被害を受けた災害復旧の追加予算で、農林関係では、農業用施設災害復旧は3町合計で241件、小災害(40万円以下)で対応するものが126件、農地災害復旧は3町合計で130件、市単独農地災害復旧事業補助金は16件です。土木関係では、河川15件、道路21件の計36件で、市単独については、大隅町で16件であります。

なお、工事額の大きなものは、農林関係で600万円以上が排水路で3件、土木関係で700万

建設経済常任委員会

(坂元勝委員長)は、曾於市一般会計予算など5件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案4件を全会一致で可決し、陳情1件を採択しました。

☆平成17年度曾於市 一般会計予算

復旧費地元負担金について、財部0・2、末吉0・3、大隅0・4の割合は、合併した予算編成の中で統一すべきではないかと



県畜産共進会 (郡中央家畜市場)